



鳥取こども学園 学園だより

第 39 号
2016年6月1日

○発行
鳥取市立川町5丁目417番地
鳥取こども学園後援会
電話 (0857) 22-4206
http://www.tottorikodomogakuen.or.jp/
○振込口座
郵便振替 01490-9-9106
題字 尾崎悌之助

鳥取こども学園創立百十周年を、社会的養護の新たな地平への節目として、

— 民間キリスト教社会事業の献身性・先駆性を引き継ぎ、

心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして

子どもたち・保護者と共に歩みたい —

「私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、

わたしにしてくれたことなのである」

マタイ：25章40節

鳥取こども学園 常務理事・園長 藤野興一

① 二〇一五年六月一日、「希望館設立二十周年・宿泊棟竣工記念式典」を開催しました。

希望館宿泊棟の竣工と創立二十周年を祝い、鳥取県知事平井伸治様、鳥取市長深沢義彦様をはじめ、多くの来賓を迎え、鳥取教会牧師橋原正彦様の司式による記念式典を挙行。続いて、精神科医師川口孝一氏の記念講演をいただき、生活型情短施設の全国モデルとしての歩みを改めて確認することが出来ました。関係各位に心より感謝申し上げます。

② 二〇一六年一月十三日、鳥取こども学園は創立百十周年を迎えました。百十年間一日も休むことなく養育の営みを続けてきたのです。この歩みを支えてきたものは、創立以来の民間キリスト教社会事業の先駆性・献身性、愛の精神であり、神様の愛と地域の多くの人々に支えられた歴代職員的情熱と体当たりの献身性であり、あくまでも社会のニーズに応えようとする姿勢でありました。又、その実践に応じて下さった国・鳥取県・鳥取市等行政当局にも感謝申し上げますねばなりません。

③ 二〇一一年七月発表された「社会的養護

の課題と将来象」による社会的養護改革は

施設の小規模化、高機能化、家庭的養護促進、里親制度拡充の方針を明示。自立援助ホームの現員払いを定員払いに戻すこと、児童養護施設や乳児院、情短施設でも、小規模ケアホーム加算を六ホームまで認めること、地域小規模児童養護施設の実現し、里親支援専門相談員配置などが実現しました。

④ 我が法人でも、乳児院三ホーム、情短施設五ホーム、児童養護施設六ホーム全てを小規模ケアホーム加算の対象とし、三か所の地域小規模児童養護施設、二か所の自立援助ホーム、独自の建物と専属の職員を配置した一時保護・シヨートステイ、トワイライトステイのホーム二か所を開設し、児童家庭支援センター、里親支援機関事業「里親支援とつとり」の運営も順調に推移しています。

施設の生活単位の小規模化と里親開拓施設の地域拠点化はこの度の社会的養護改革の要で、鳥取こども学園はその全国モデルとして、パイオニアの役割を果たしています。

鳥取こども学園はその他、情短通所部門、分校分教室、小児精神科診療所、若者サポートステーション、障がい福祉サービ事業などを展開し、入所型養育事業と地域展開型ソーシャルワーク事業の有機的総合施設として先駆的役割を担っているのです。

⑤ 創立百十年目を迎えて、私たちは改めて「制度に子どもを合わせて制度に合わない子どもを切り捨てるのではなく、子どもに制度を合わせ、子どもの最善の利益を求め続ける」こと、キリスト教社会事業の先駆性と献身性を掲げて歩むその実践が現在の社会的養護改革を牽引してきたのです。制度のない時代に、目の前のこれら小さくされた者に寄り添い続けたい先輩たちの社会事業実践を改めて想起したいと思っております。

⑥ 人口わずか五十七万三千八百八十一人(平成二十八年四月一日)の鳥取県は、「子育て王国鳥取県」を標榜し、児相が三力所、児童家庭支援センターも三力所、十九市町村の「要対協」連絡会議、児童養護施設五施設の内三施設が完全小規模ケア施設等々、顔の見える子育て支援ネットワークを実現し、国の制度改革の先頭を切っただだいでいる。感謝です。しかし、公的制度改革はやっと端緒に就いたばかりです。目の前の子どもや保護者のためには、熱い祈りと有為な人材と多くのお金が必要で、実に多くの方々から多大なご支援いただいで歩んでまいりました。お礼申し上げます。引き続き、「鳥取こども学園後援会」の組織強化と財政基盤確立にご協力ください。

⑦ 創立百十周年記念式典・感謝の集いを開催します。詳しくは十六ページに掲載しております。ご予約ください。

法人本部

常務理事 藤野興一 記

第二次五ヶ年計画の二年
目・創立百十周年に当り、
更なる飛躍を目指します。

① 二〇一五年度から二〇二〇年度までの五年間は鳥取こども学園第二次五ヶ年計画の期間に当たり、国が各都道府県と進めている社会的養護小規模化推進計画の最初の五年の期間に当たりま
す。そして二〇一六年はその二年目であり、同時に創立百十周年に当ります。二〇一六年十月一日(土)、乳児院創立十周年と合わせて記念式典・感謝の集いを開催します。

② この間、「社会的養護の課題と将来像」実現に向けて猛運動がなされ、その結果、長年の懸案であった職員配置の大幅な増員や民改費の三%アップが二〇一五年度から予算措置され、制度改革への歴史的前進が図られました。鳥取こども学園の事業展開は、その牽引者の役割を担ってまいりましたが、無理をしてきた分、財政基盤の立て直し課題となつていきます。給与改定も九月をめどに実施したい。

③ やればやるほど赤字になる「児童家庭支援センター事業」、開設以来大幅な赤字を抱えることとなった「はまむら作業所」での障がい福祉サービス事

業、大規模な立て替え運転資金を要する「地域若者サポートステーション事業」等、法人本部の財政立て直しも課題です。

④ 希望館の生活棟建て替えと本部財政強化のための五千万円募金は、二〇一四年度が千三百二十九件、二千二百六十五万五千四百二十二円、二〇一五年度が七百十八件、千五百七十一万七千四百五十八円、総計千八百五十七件、三千八百三十七万二千五百円集まっています。心より感謝申し上げます。改築募金は一旦締め切らせていただき、法人財政基盤立て直しのために引き続き寄付募集することとします。よろしくお願ひ申し上げます。

⑤ 一部法人の不祥事等に端を発した社会福祉法改正が二〇一六年三月三十一日に成立し、四月一日から施行されました。今年九月二十五日が当法人の役員改選期に当たり、九月までに新しい定款準則に基づいた定款変更案を作り、評議員選考委員会により評議員を選任、二〇一七年四月一日評議員会開催・監事、理事選出、理事会開催、理事長、常務理事選任の運びとなります。

理事と評議員の兼任は認められず、理事会は執行機関で理事は六名以上、評議員会は議決機関で七名以上となります。

⑥ 更なるご支援お願ひ申し上げます。

法 人 本 部 決 算 書

収 入

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
借入金利息補助金収入	8,000	7,792	208
経常経費寄附金収入	15,300,000	15,717,458	△ 417,458
受取利息配当金収入	2,000	1,939	61
その他の収入	4,541,000	3,318,806	1,222,194
前期末支払資金残高	0	30,895,514	△ 30,895,514
合 計	19,851,000	49,941,509	△ 30,090,509

支 出

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
人件費支出	1,038,000	1,036,800	1,200
事業費支出	1,171,000	1,177,344	△ 6,344
事務費支出	5,919,000	6,031,156	△ 112,156
支払利息支出	31,000	31,169	△ 169
設備資金借入金元金償還支出	1,000,000	1,000,000	0
固定資産取得支出	916,000	915,624	376
拠点区分間長期貸付金支出	1,940,000	1,940,000	0
拠点区分間繰入金支出	5,538,000	4,543,432	994,568
合 計	17,553,000	16,675,525	877,475

収入支出差引残金 ¥33,265,984 -は次年度繰越

児 童 養 護 施 設 「 鳥 取 こ ど も 学 園 」 決 算 書

収 入

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
児童福祉事業収入	315,717,000	315,947,678	△ 230,678
借入金利息補助金収入	18,000	18,592	△ 592
経常経費寄附金収入	195,000	195,000	0
受取利息配当金収入	3,000	2,621	379
その他の収入	3,580,000	3,657,667	△ 77,667
施設設備等補助金収入	879,000	879,200	△ 200
前期末支払資金残高	0	25,442,672	△ 25,442,672
合 計	320,392,000	346,143,430	△ 25,751,430

支 出

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
人件費支出	234,964,000	235,179,815	△ 215,815
事業費支出	54,221,000	51,424,128	2,796,872
事務費支出	9,457,000	9,864,005	△ 407,005
支払利息支出	380,000	380,716	△ 716
その他の支出	3,370,000	3,331,800	38,200
設備資金借入金元金償還支出	4,088,000	4,088,000	0
固定資産取得支出	1,502,000	1,499,818	2,182
積立資産支出	344,000	7,219,464	△ 6,875,464
その他の活動による支出	12,000	11,270	730
合 計	308,338,000	312,999,016	△ 4,661,016

収入支出差引残金 ¥33,144,414 -は次年度繰越

児童養護施設

鳥取こども学園

副園長 田中佳代子

今年度より、乳児院兼務で児童養護施設の副施設長も担うことになり重責を感じております。乳児院からの子ども達も多くいますので、成長を見守らせていただけるとは光栄です。入所歴の長い児童も多く、全体に低年齢の児が多いので落ち着いて生活していますが、それぞれに目に見えない問題を抱えていることを痛感しています。

現在、定員五十八名・入所五十一名です。

今春、鳥取大学に合格したE君が、間もなくカナダ留学へと旅立ちます。彼は「今の自分があるのは、施設での生活があったから。育ちを否定するのは、自分の大切な一部を否定するのと同じだ」と昨年のカナダ視察で悟り、「互いを尊重し合って生きているカナダの多文化を学び、以前の僕のように劣等感を持つ人たちの助けになりたい」と希望を抱いて旅立ちます。学園始まって以来の羽ばたきに多くの方の励ましも彼を勇気づけてくれていると感謝いたします。私も彼の言葉と決意に多くのものを学びました。残る子どもたちも彼のように希望を持って生きる力を持てるよう、どう寄り添うべきか模索の毎日を歩みたいと思えます。宜しくお願い致します。

職員自己紹介

◆ふじホーム



保育士 松原 可南子

四月よりふじホームでお世話になっております。まだわからないことも多く、不安はありますが、職員の方や子どもたちから様々なことを学び、吸収しながら笑顔で頑張っていきたいと思えます。よろしくお願致します。

◆ひまわりホーム



保育士 澤田 結梨

四月からひまわりホームに配属された澤田結梨と申します。子どもと共に成長していけるよう精一杯頑張っていきたいです。初めてのことはばかりで、皆様には何かとご迷惑をおかけすることと思えますが、よろしくお願致します。

◆たんぽぽホーム



保育士 藤田 友理

たんぽぽホームを担当させていただくことになりました藤田友理と申します。子どもたちと一緒に楽しくすごし、色々な経験をして私自身も成長していけるよう頑張りたいと思えます。よろしくお願致します。

◆こどもの家 あかり



保育士 本庄 幼和

今年度からあかりで働かせていただくことになりました。働き出してまだ日は浅いですが、子どもと生活する中で考えさせられることがあります。職員の方々に相談したり、自分なりに試したりしながら、たくさん悩んで成長していきたいです。よろしくお願致します。



調理員 村田 泉

本年度より炊事でお世話になっております。みなさんの喜ぶ顔を思いながら日々食事を作らせて頂いています。どんな味がお好みか手さぐりですが努力だけは…。がんばりますので宜しくお願致します。

乳児院

鳥取こども学園乳児部

院長 田中佳代子

平成二十八年度は、乳児院開設十年目の節目の年となりました。副院長に竹中主任をお願いし、各ホームも新メンバーを迎え意欲的にスタートを切りました。退所や措置変更で四月当初は入所十名となり、年齢層も下がり穏やかな交わりの日々が続いています。節目の年としての振り返りと躍進の年にしたいと思えます。

副院長 竹中 成代

今年度は鳥取こども学園の百十周年に加えて、鳥取こども学園乳児部は開設十周年を迎えます。この節目の年に副院長を務めさせて頂くこととなり、とても身の引き締まる思いであります。

鳥取こども学園乳児部では、子どもたちの健やかな成長・発達を第一に考えます。また、ご家族の方々の思いにも寄り添いながら、共に子育てを行っていく姿勢を基本にしております。

私が保育所鳥取みどり園に勤務していた十三年前のこと。全社協が発行している、医学博士であり落語家でもある北原

秀樹氏の著書「福祉めいげん」の「話」で取り上げられている「最もよい教師は子どもと共に笑う。最もよくない教師は子どもを笑う。」(教育学者ニール・ポストマン)という言葉に出会い、ハッと自己を反省した経験があります。この言葉は私たち施設職員にもそのまま当てはまる言葉ではないでしょうか。子どもを笑うことなく、子どもと共に喜び、共に笑える職員でありたいと考えます。

施設職員に最も求められるものは暖かい笑顔です。自然で心豊かな暖かい笑顔は、子どもの緊張が溶けホッとすると同時に、信頼感と安心感を抱くことができます。子どもたち一人ひとりを大切に、一人ひとりの思いを笑顔で受けとめることによって、子どもたちが自由に伸びのびと自己を表現することができ、安全で安心できる関係づくりができるのではないかと考えます。

子どもたちの輝かしい可能性を最大限に引き出し、健やかな成長・発達の保障のために日々奮闘し、子どもたちと共に笑顔で笑い声の絶えない乳児部でありたいと思います。その先にはご家族の方々とも笑いあえることを願って、職員が一丸となってより良い養育とは何かを基本に立ち返り、更に専門性を高めていきたいと思っております。



テラスでお花見

職員自己紹介

◆どんぐりホーム



保育士
吉田 恵理

はじめまして。今年度よりどんぐりホームでお世話になっております。吉田です。分からないことは何でも、皆さんからたくさんのご指導をいただきたいと思います。一日一日の積み重ねを大切にして頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

◆どんぐりホーム



保育士
前田 明子

四月よりどんぐりホームでお世話になっております。前田です。以前は養護で働いていました。育児休業から約三年ぶりに仕事に復帰するということで、とても緊張していましたが、乳児部の職員の方々にあたたかく迎え入れてもらい、楽しい気持ちで働かせていただいております。子どもの気持ちに寄り添い、毎日新鮮な気持ちで、子ども達と生活していきたいと思っております。

◆くるみホーム



看護師
三中 加奈子

四月より乳児部のくるみホームでお世話になっております。乳児部は未知の世界で慣れない事だらけで日々とても新鮮な気持ちです。子どもの笑顔を見られる事が何よりの癒しです。子どもの生活に寄り添って安心される存在になれる様頑張っていきたいと思っております。宜しくお願いします。

乳児院「鳥取子ども学園乳児部」決算書

収入

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
児童福祉事業収入	178,265,000	179,374,896	Δ 1,109,896
借入金利息補助金収入	21,000	18,592	2,408
経常経費寄附金収入	60,000	60,000	0
受取利息配当金収入	6,000	6,807	Δ 807
その他の収入	2,605,000	2,626,281	Δ 21,281
施設整備等補助金収入	226,000	225,600	400
前期末支払資金残高	0	28,998,667	Δ 28,998,667
合計	181,183,000	211,310,843	Δ 30,127,843

支出

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	144,794,000	144,671,722	122,278
事業費支出	14,199,000	13,217,053	981,947
事務費支出	6,585,000	6,304,915	280,085
支払利息支出	133,000	132,840	160
その他の支出	2,400,000	2,420,370	Δ 20,370
設備資金借入金元金償還支出	1,228,000	1,228,000	0
積立資産支出	211,000	5,207,849	Δ 4,996,849
合計	169,550,000	173,182,749	Δ 3,632,749

収入支出差引残金 ￥38,128,094 -は次年度繰越

情短施設「鳥取子ども学園希望館」決算書

収入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
児童福祉事業収入	226,891,000	227,051,110	△160,110
借入金利息補助金収入	10,000	9,296	704
経常経費寄附金収入	35,000	45,300	△10,300
受取利息配当金収入	3,000	2,475	525
その他の収入	2,801,000	2,998,712	△197,712
施設整備等補助金収入	54,821,000	54,820,058	942
施設整備等寄附金収入	2,875,000	2,875,000	0
設備資金借入金収入	20,300,000	20,300,000	0
固定資産売却収入	256,700,000	256,700,600	△600
拠点区分間借入金収入	1,940,000	1,940,000	0
その他の活動による収入	200,000	200,000	0
前期末支払資金残高	0	6,471,616	△6,471,616
合 計	566,576,000	573,414,167	△6,838,167

支出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	176,900,000	175,980,667	919,333
事業費支出	32,502,000	31,289,375	1,212,625
事務費支出	4,950,000	4,599,100	350,900
支払利息支出	80,000	73,073	6,927
その他の支出	2,763,000	2,955,360	△192,360
設備資金借入金元金償還支出	3,604,000	3,604,000	0
固定資産取得支出	345,520,000	345,517,568	2,432
積立資産支出	257,000	256,517	483
合 計	566,576,000	564,275,660	2,300,340

収入支出差引残金 ￥9,138,507 -は次年度繰越

情短施設
鳥取子ども学園希望館

昨日、今日、明日

館長 西井 啓二

情緒障害児短期治療施設を略して「情短」(じょうたん)と言います。情短で分からない人もいますが、省略する前の情緒障害児短期治療施設のことを知らない方がたくさんいます。昭和三十七年に全国で最初の情短施設が設立され今年で五十四年たちました。法律は、厳密さが必要なので難しい表現を使いますが、施設種別を「情緒障害児」という意見の分かる曖昧な表現にしています。これは仕組まれたのではないかと思っています。五十四年経った現在でも情緒障害児ってどういふことって質問されても、施設長でさえきちんと答えることができません。勿論、説明はできますが、必ず異論が生じます。むしろ、曖昧な表現だと時代が流れても幅広く理解できます。母子寮が母子生活支援施設、教護院が児童自立支援施設、養護施設が児童養護施設等々、制度も法律も施設種別の呼び方もあれこれと変化しています。情短も種別を心理治療施設に変えようという動きもあります。

とはいえ法律で子ども達が分類されるのは、大人の都合で決めた大人の議論です。子ども達は自分の事を情緒障害児なんて思っていないし、それを自覚しても良いことは何もありません。

心理治療施設と種別が変わっても、子

ども達が変わるわけではありません。私達は、情短や心理治療施設であることよりも希望館であることの方が大事だと思います。法律や施設種別が変わっても、希望館で有り続けることが重要なのです。子ども達が笑ったり、泣いたり、ケンカして仲直りする、恋をしたり、憧れたり、普通の生活で育ち続けることがテーマです。もしも、希望館で出会ったら、施設種別や法律と関係なく、出会った意味を一緒に創りましょう。みんなでみんなを応援します。昨日と今日と明日がちゃんとながりますように。

職員自己紹介

◆さつきホーム



渡邊 紗奈

児童指導員

こんにちは！今年度からさつきホームで働かせていただくことになりました。日々様々なことを吸収し成長していけたらと思います！宜しくお願いします！

◆男子ブロック



赤木 敏行

児童指導員

はじめまして。四月から希望館男子ブロックのフリー職員になりました。希望館の職員として、楽しいこともつらいこ

とも、どんなことでも挑戦していく決意です。よろしくお願ひします。



原田 敦

セラピスト

この度、四月から希望館で働くことになりました。子どもたちと共に生き、成長していくことができるように頑張っていく決意です。明るく楽しく、有意義に子どもたちと接していきます。



重成 美穂

看護師

この春より、希望館の仲間入りをさせていただきます。日々の大切なことを、話し合いの場で教わっています。子どもたちのところに寄り添いながら、健康管理のお手伝いをしていきたいです。どうぞよろしくお願ひ致します。



寺尾 結希

調理員

四月から調理員として働いています。子ども達が毎日食べる食事ですので、美味しく安全なものを作っていきたいです。そして、子ども達の成長・健康を食事の面からサポートしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

保育所「鳥取みどり園」決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
保育事業収入	154,443,000	155,942,162	△ 1,499,162
受取利息配当金収入	3,000	1,989	1,011
その他の収入	2,145,000	2,134,843	10,157
積立資産取崩収入	0	2,181,390	△ 2,181,390
前期末支払資金残高	1,302,000	3,398,274	△ 2,096,274
合 計	157,893,000	163,658,658	△ 5,765,658

支 出

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
人件費支出	130,302,000	129,592,476	709,524
事業費支出	18,011,000	17,982,461	28,539
事務費支出	4,087,000	3,833,360	253,640
支払利息支出	522,000	521,407	593
その他の支出	2,090,000	2,092,620	△ 2,620
設備資金借入金元金償還支出	2,424,000	2,424,000	0
固定資産取得支出	252,000	403,720	△ 151,720
積立資産支出	205,000	2,387,182	△ 2,182,182
合 計	157,893,000	159,237,226	△ 1,344,226

収入支出差引残金 ￥4,421,432 -は次年度繰越

保育所
鳥取みどり園

新しい年度を迎えて

園長 長代 文子

桜花こぼれんばかりの四月五日、二十九名の新入園児を迎えて第六十六回の入園式を行いました。園児数百五十二名、職員数三十四名で平成二十八年度がスタートいたしました。

新入のお子さまにとりましては、生まれて初めての集団生活に大きな不安と緊張のスタートであったと思いますが、二か月経った今では、保育者や園の生活にも慣れて笑顔が見られ、元気な声が園内に響くようになりました。

鳥取みどり園では、キリスト教精神に基づき、心身共に健康で豊かな人間性をもった子どもに育てることを保育目標としています。子ども達一人ひとりの成長・発達過程をとらえ、子どもの心に寄り添いながら、一日一日を大切に育ち合っていきたいと考えています。「安心して自分が発揮できる」「温かく居心地のよい場」となるように子どもたちの関わりの中で、きめ細かい配慮をし、保育をしていきたいと思っています。

当園の敷地や周辺には、サクラ・メタセコイヤ・ドングリ・イチヨウ等、おおくの草木が茂り、昆虫が生息し、常にもどりの風が吹いています。そして裏庭の大きな桐の木。子ども達をやさしく見守



ままごと遊び



未満児



体操教室

り、六十数年の年輪を刻んでいます。苗木から大木に成長したこの桐の木がもつ「生きる力」のすばらしさに感動さえ覚えます。この環境は、きつと子ども達の興味を刺激し、探究する心を育て、観察する目を養い、そして生命の尊さを知らせてくれることと思います。

新しい出会いの中で子ども達が与えられたこの時を大切に、安心して自己表現ができるようしっかりと受け止めていきたいと思えます。

今年度も子ども達にとって「楽しい保育園」、保護者の皆さまにとっては「安心し、信頼していただける保育園」であるよう、そして「あかるいひかりのみどり園」「あかるいあいのみどり園」を目指して職員一同心を一つにして努めていきたいと思えます。

診療所「こころの発達クリニック」決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
医療事業収入	30,018,000	29,709,599	308,401
経常経費寄附金収入	30,000	26,000	4,000
受取利息配当金収入	1,000	1,095	△ 95
前期末支払資金残高	0	7,778,232	△ 7,778,232
合 計	30,049,000	37,514,926	△ 7,465,926

支 出

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
人件費支出	22,254,000	22,267,039	△ 13,039
事業費支出	1,711,000	1,724,768	△ 13,768
事務費支出	1,766,000	1,753,710	12,290
支払利息支出	18,000	18,000	0
長期運営資金借入金元金償還支出	1,500,000	1,500,000	0
積立資産支出	29,000	28,562	438
合 計	27,278,000	27,292,079	△ 14,079

収入支出差引残金 ￥10,222,847 -は次年度繰越

診療所
こころの発達クリニック

事務員 **由井みどり**

早いもので、こちらの診療所に勤め始めてから一年が経ちました。まだまだ至らない点も多いかもしれませんが、今後とも精一杯頑張りたいと思っております。よろしく願います。

私事ですが、私には小学生の息子がおります。最近、大好きなお友達に、我が家に泊まりにきてほしいという話をするようになりました。私も小学生の時、友人の家に泊まりに行ったことがあったなあと懐かしく思い出しました。自分の家とは違う匂い、食事（配膳のされ方など）、おやつ、お風呂の入り方、違うシャワー、歯の磨き方、布団の匂い、寝心地。めったに体験できない、よそのおうちの生活。ドキドキわくわくで、刺激がたくさんでした。

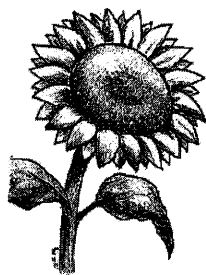
私はそこから、それぞれの家庭には違うカタチがあることを知りました。ある意味、ぶち異文化体験だったと思います。

しかし近頃は、お友達の家へのお泊りを禁止している小学校もあると聞いたことがあります。リスクマネジメントで

しょうか。それを知った時、なんだか寂しく感じました。確かに、受け入れる家庭には多少なりとも負担は生じるかもしれませんが、しかしそれ以上に子どもたちが得るものは沢山あると思うのです。

こうしたぶち異文化体験が、将来大人になった時に、自分のまわりには色々な人がいること、色々な家庭のカタチがあることを理解するきっかけになるのではないかと思えます。知識としては分かっているつもりでも、心底理解するには身を以て感じる事が大切ではないでしょうか。

些細なこともかもしれませんが、お泊りに限らず、子ども同士の関わり合いの場を、もっと私たち大人が守り保障してあげることができたらなら…。子どもたちの「こころ」は、私たち大人が作り出す環境にも影響を受けるということを、忘れてたくないものです。



倉橋惣三「育ての心」より

子ども家庭支援センター「希望館」決算書

収入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
児童福祉事業収入	64,000	64,000	0
その他の事業収入	12,829,000	12,829,000	0
拠点区分間繰入金収入	3,396,000	3,229,742	166,258
合 計	16,289,000	16,122,742	166,258

支出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	14,635,000	14,624,688	10,312
事業費支出	634,000	534,314	99,686
事務費支出	999,000	943,421	55,579
積立資産支出	21,000	20,319	681
合 計	16,289,000	16,122,742	166,258

収入支出差引残金 ￥0

児童家庭支援センター
子ども家庭支援センター「希望館」

「希望館」へ来て

相談員 **長尾 香里**

縁あって子ども家庭支援センター「希望館」に出向させて頂くことになり、新生活に慣れるのにあたふたしていたのも束の間、支援センターでの日々のせわしなさについていくのに必死になっている内に、あつという間に四か月経過していったような気がします。

岡山県には児家センが一施設しかなく、児家センがあまり地域に浸透していないのが実状です。私自身、恥ずかしながら児家センがどういった機能を持っている、どういった動きをしているところなのか、ほとんど知識がありませんでした。そんな私が「希望館」に籍を置き、学びながら、相談員として現場に携わらせていただけたことに本当に感謝しています。

児家センでは電話相談を受けたところから関わりがスタートすることもあり、情報収集やケースカンファレンスを重ねてアセスメントしていくことを学びました。ケースの方針の見立てをし、必要に応じて関係機関と連携していくという日々の動きを見ていて、児家センが地域

の児童福祉の中継地点にたっているといふ印象を強く受けました。

四か月間で学んだことを貴重な財産として持ち帰り、岡山県にも、自分達が地域資源の一員となつて、子ども達や家庭の手助けができる場が増やせるように頑張りたいと思っています。本当にありがとうございました。

★家族・子育てについての悩みや、子どもに関するあらゆることへの相談に応じます。相談料は無料です。

◆電話相談

・月曜日～金曜日 朝9時～夜12時
(緊急の場合は、休日、祭日、時間外も24時間対応します。)

◆来所相談

・月曜日～金曜日 朝9時～夕方6時
専門の相談員が対応します。

職員自己紹介



相談員
藤川 彩

四月から子ども家庭支援センター「希望館」にて相談員として働かせていただいております。社会人としての第一歩を、この鳥取子ども学園で迎えられることを大変嬉しく思っており、感謝の気持ちでいっぱい입니다。まだまだ歩み始めた

ばかりで不安もありますが、経験を積み重ねながら早く仕事に慣れていきたいと思っております。皆様のお力をお借りしながらお役にたてるよう、一日一日を大切に一生懸命頑張らせていただきます。未熟ではありますが子ども家庭支援センター「希望館」の一員として、子どもさんや親御さんと共に私自身も一緒に歩いていけたらいいなと思っております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

里親支援とっとり

中国地区里親大会について

里親委託等推進員 吉田 信彦

第六十三回中国地区里親大会を平成二十八年五月二十八日(土)・二十九日(日)に米子全日空ホテルにおいて開催します。この大会は、中国地区の里親と関係者が一堂に会して、養育の問題や里親制度の現状などの議論と研修を行います。中国地区全体では、概ね五百四十人が里親の活動をしています。開催中は、地域の取り組みを反映した研修を行い、「当地の特色を生かしたおもてなし」を行います。

基調となる講演は、子育て王国のリー

ダーとして、鳥取県知事平井伸治様に里親への想いを語っていただくようお願いしています。更に鳥取短期大学前学長山田修平様に「命の呼ぶ心」を育む、自分を育む」と題して御講演をいただきます。山田学長の御講演は、大変にエネルギーで示唆に富んだ内容であり、とても期待しています。各分科会は、今と未来の問題を取り上げ企画しました。

分科会①は「社会的養護の両輪となつてく児童福祉施設と里親との連携」と題し、施設と里親の相互理解と連携のあるべき姿について語り合います。分科会②は「実際どうなの!? お金の話」という企画で、ファイナンシャルプランナーの方を助言者にお迎えし、措置費制度が対象としない経費などについて意見交換します。分科会③は「しっかりご存知? 発達障がい」と題して、山陰労災病院院長大野耕策医師を助言者にお迎えし、発達障がいの最新の情報を提供していただき、養育上の悩みにお答えいただきます。分科会④は「施設と里親どっちがすごい?」と題し、どんな子どもがどんな時に、里親に、又は施設に委託されるべきか討論します。

中国地区五県が持ち回りの開催なので、当県で行うのは五年ぶりです。前回には当法人が里親支援機関連事業を受託した年に開催されました。五年前は、何も分からず右往左往していた記憶があります。その時、「五年後はあなたたちの舵

取りですな」と言われたことを鮮明に覚えていています。

五年前に、鳥取県庁福祉保健部子育て王国推進局青少年・家庭課から鳥取県里親会事務局を引継ぎました。この五年間、鳥取全県の里親の皆さんと共に様々なことに取り組み、たくさん語り合ったことで、里親支援とっとりは大きな成長を遂げ、里親の皆さんとのパートナーシップを築くことができたと思っております。中国地区各県から御参加の里親の皆さんに実りある学びの時間を提供できるように、多くの方の御支援をいただきながら、鳥取県里親会の総力を挙げ大会を運営いたします。

里親支援機関「里親支援とっとり」決算書

※精算報告額

(単位:円)

科 目	収入・支出額	備 考
鳥取県委託費等	11,150,000	人件費、活動事務費等
経常経費寄附金収入	194,312	鳥取県里親会協賛金
合 計	11,344,312	



自立援助ホーム「鳥取フレンド」決算書

収入

(単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 比較増減(△)額. Rows include 児童福祉事業収入, 経常経費寄附金収入, etc.

支出

(単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 比較増減(△)額. Rows include 人件費支出, 事業費支出, etc.

収入支出差引残金 ￥7,307,294 -は次年度繰越

鳥取フレンド

手を出さない支援

寮長 内藤 直人

「自分で考えて」「自分のことなので自分でして。」

この春に退寮し、一人暮らしを始めた一人によくいった言葉です。一人暮らしを始めるにあたって、住居関係の手続き、住民票を移す等の公的なやりとりを極力自分でしてもらおうように声かけをしてきました。このやりとりをする中で我々職員は寮生が新たな生活を始める喜ばしさ、反面、一人でも大丈夫だろうか…という心配を感じ、複雑な心境になります。我々が出会う寮生の中には社会経験が乏しく、こちらが先回りをして声かけをしたり、手を出したりしないと考えることができません、行動に移すことができない人たちがいます。我々が出会うまでに過酷な環境の中で育った彼らにとってそれは仕方のないことですが、自立援助ホームで生活し、さらに自立をするといったときにそのことは大きな壁になることが多くあります。また、あまりにも支援の中で手を掛けすぎること、やってもらって当たり前の気持ちを生み、社会の中で周りに受け入れてもらいにくくなるといついかなるにも繋がります。

公的な手続きをするのに、極力手を出さないのは3つの目的があります。①社会的なスキルを身につける、②人に手を貸してもらおうということへの気付きを促す、③少し近寄りがたい公的機関にわからないことを聞けるようにする、ということ。特に③については、おそろく何かで困ったときに助けになるのは公的機関であり、そこを避けて通るということは生死に関わることもあるので、公的機関に助けを求めるという経験を最低限してもらいたいという狙いがあります。手を出さない支援と聞くと、厳しかったり、職員の怠慢のように思えるかもしれませんが、自立援助ホームにおいては、手を出す、支援と手を出さない、支援のバランスが重要であり、そのことが寮生たち自身の自立に繋がるのではないかと考えています。

職員自己紹介



指導員 竹中 愛彦

四月一日より、鳥取フレンドでお世話になっております。子ども達が安心して過ごせるよう、何気無い関わりを大切に日々、寄り添って生活していきたいと思っております。よろしくお願いたします。

自立援助ホーム「鳥取スマイル」決算書

収入

(単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 比較増減(△)額. Rows include 児童福祉事業収入, 経常経費寄附金収入, etc.

支出

(単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 比較増減(△)額. Rows include 人件費支出, 事業費支出, etc.

収入支出差引残金 ￥3,861,970 -は次年度繰越

自立援助ホーム

鳥取スマイル

いまを生きる

寮長 田村 崇

日頃より、自立援助ホームの活動に対しご理解とご支援いただきまして誠にありがとうございます。私たちは青少年との関わりの中で日々を過ごしています。生きづらいつこの時世の中で私たちが出会い若者たちは、それぞれの目標に向かいそれぞれのペースで毎日を送っています。山あり谷あり、谷あり谷ありと毎日色々なことがありますが、ただ平穩に過ごすことを目指すのではなく、今を精一杯生き、未来の笑顔につながってほしいなと思っています。

口は好日(にかなにかなれに)人それぞれに解釈は違つかもしれませんが、今日「の時」しかない、また「今」を大切に悔いのないよう生きていくことを若者たちとともに分かち合い歩いていければなと思っています。

鳥取フレンド、そして鳥取スマイルのスタッフ四人力を合わせ、尊敬と愛を忘れずにこれからも前進していきたいと思っております。今後ともご支援いただきありがとうございます。今後ともご支援いただきますようお願いいたします。

職員自己紹介

指導員 徳井久美子

関金から鳥取に移転して三年になりました。その間にも色々な子ども達に出会い、そして巣立っていき、突然の別れもあり：そんな事を繰り返しながら一年があっという間に過ぎてしまふ今日この頃です。課題も多く悩む事もありますが同じ町内にある鳥取フレンドとも連携をして日々子ども達と生活をしていきます。気持ち落ち込んでいた時にOB・OGからの電話やLINE...。本当に救われると同時に人と人との繋がりを感じます。そんな私ですが、これからもマイペースに私らしく子ども達と付き合っていきたいと思えます。

指導員 高津 健信

自立援助ホームに異動になって丸三年が経ちました。この三年間で色々な子どもたちが自立援助ホームを退寮し、お世辞にも良い退寮の仕方とは言えない子どももいます。彼らの人生において私たちはただの通過点にしかすぎません。長い人生の中で私たちと過ごした時間が少しでも彼らの幸せに繋がってくればと思っています。

今年度より鳥取フレンドから鳥取スマイルに異動になりました。なかなか異動の多い私ですが、どこに行っても「出来るだけ笑顔で、笑いを絶やさない」を

モットーに、良い加減で頑張っていきたいと思えます。

補助員 太田垣 茂

今年度は昨年の経験を生かしてもっといろいろな人と交流していきたいと思えます。特に食を通して伝えていけることをしっかりと伝え、それぞれの自立を支えていけるように自分自身もステップアップして頑張っていきたいと思えます。

地域若者サポートステーション事業 とっとり・よなご若者サポートステーション

★よなご若者サポートステーション

四年目を迎えて

総括コーディネーター 山田 香子

よなご若者サポートステーションが開所して四年という月日が過ぎました。

昨年度は新区画に引越し、新しい場所での業務開始となりました。それから約一年イオン米子駅前店四階は、また新たにフロアの整備が進んでいる最中です。先日、四月も月日が流れていることを

改めて感じることはありません。それは、平成二十五年開所した年に、サポートステーションを利用し、進路決定された方が、再びサポートステーションを来所されたり、家族からの

相談は受けていたもののサポート支援対象者本人となかなか会えずじまいでしたが、その本人がサポートステーションにようやく来所されるということがあったのです。それぞれ苦しい道のりがあったようですが、再びサポートステーションに来所してくださり、また一緒にスタートできるということが、支援者としてうれしく思います。

地域若者サポートステーション事業は昨年平成二十七年より、雇用対策に力を入れ、さらに職場定着ステップアップ事業が加わり、働くことになかなか一歩踏み出せない若者(十五〜三十九歳まで)の就労までの道のりと、就職した後のフォローを行っています。やっこの思いで就職をしたとしても、社会情勢が目まぐるしく変わる昨今、職場の事情や、労働者本人のライフスタイルの変化、そして本人を取り巻く家族等の変化により仕事を長く続けることが難しい場合もあります。また多様な働き方が増えたと同時に、多様な価値観も増え、「仕事」「労働」に対する意識も色々ある中、自分がどのように生きているのか、そしてどのような仕事に就きたいのかわからなくてなかなか進めない時もあります。そのような時、サポートステーションに来所していただき、また新しいスタートを切るサポートや、これからスタートするにあたってのサポートをさせていただきたいと思えます。

年を重ねる毎に、新しい事業や試みを行ってきました。おかげさまで就職決定者数、相談件数も増えてきております。この春、これまでお世話になってきた関



総括コーディネーター 川端 江美

★とっとり若者サポートステーション 九年目を迎えて

とっとり若者サポートステーションは、働きたい・社会参加したい思いを持ちつつも、自信がない・何から始めていいかわからないなど、就職や進路選択の

係機関の方々も異動されるなど、本当に日々変化しているのだなということを感じております。よなごサポートも地域に根差したサポステとして、社会情勢に合わせた新しいニーズに対するサービスの提供と、そして従来通り、一人ひとりの歩幅に合わせた進路決定や生き方のサポートというミッションのもと、日々の業務に携わっていききたいと思えます。

悩みを抱えている在職・在学していない若者（十五〜二十九歳）とその家族を対象とした相談支援機関として九年目を迎えました。

サポートメニューは、相談を中心としてグループワークとプレジョブ（職場見学・職場体験・職業講話）に加え、社会人基礎力習得支援（サポステ塾）、アフターフォローを行っています。

このようなメニューを自分のペースで利用してもらうことにより、働き方も含めた『自分らしい生き方』を見つけていただくことを目指しています。

当所は平成二十年にオープンして以来、二十七年目までに継続利用された方は七百二十名、延べ相談件数は一万四千件を超え、延べ進路決定者数は四百人以上と多くの方に利用していただいています。

サポステの利用を終える方々は、求職活動や就労など、それぞれの『自分らしい生き方』へ向かって歩んで行かれます。見送る私たちにとっては喜びの時でもあり、その方の大切な時期に関わらせてもらえた感謝の時でもあります。

九年目を迎えて、多くの方々と関わらせていただき、関係機関には周知されていると感じると同時に、一般の方々にはまだまだ無名な存在であると痛感しています。

特に感じるのが企業訪問時であり、「聞いたことがない」「若者仕事ぶらざとは違うの？」などのお声をいただきます。そのような中で現在、「協力いただける企業（自立サポーター）数は七十一社と

なり、少しずつご理解いただいているところです。

今後、サポステを必要としている若者や家族に届くよう出張相談や広報活動を行い、目標は地域の方々の中で、「働きたいけど悩むなあ」「そんな時はサポステ！」

と当たり前に思い浮かべていただけるような地域に浸透した存在となるため、日々、邁進していきます。

地域若者サポートステーション事業決算書

「とっとり若者サポートステーション」

※精算報告額

(単位：円)

科 目	収入・支出額	備 考
厚生労働省委託費	19,926,162	体制費、活動事務費
鳥取県委託費	11,227,535	体制費、活動事務費、事業経費
合 計	31,153,697	

「よなご若者サポートステーション」

※精算報告額

(単位：円)

科 目	収入・支出額	備 考
厚生労働省委託費	15,403,848	体制費、活動事務費
鳥取県委託費	10,655,862	体制費、活動事務費、事業経費
合 計	26,059,710	

鳥取養育研究所決算書

収入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
その他の事業収入	1,863,000	1,746,800	116,200
受取利息配当金収入	1,000	107	893
前期末支払資金残高	0	826,771	△ 826,771
合 計	1,864,000	2,573,678	△ 709,678

支出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
事業費支出	928,000	904,399	23,601
事務費支出	598,000	612,415	△ 14,415
合 計	1,526,000	1,516,814	9,186

収入支出差引残金 ￥1,056,864 -は次年度繰越

鳥取養育研究所

事務局員 清水 暁子

鳥取養育研究所は、鳥取養育研究会から理念を引き継ぎ、さらなる発展を目指して、平成二十四年六月に設立されました。今年の春で五年目を迎え、現在百三名が所員として登録されています。所員の所属や実践・研究のフィールド、経験年数は様々です。ただひとつ、共通しているのは、みな「子どもたちのしあわせ」について熱い思いを抱きながら、日々の業務や子どもとの生活、子どもの養育にかかわっているということです。

養育研ニュースは、一年に三回発行される所員向け情報誌です。毎回、所員への一方的な情報提供にとどまることなく、福祉、教育、医療、法律、行政等、様々な分野で子ども養育にかかわる所員のみならずの声を届け、相互に知り合う機会にしたいと願い、編集にあたっています。設立からこれまでに十一冊の養育研ニュースが発刊され、四十四名の所員に、子どもの養育についての関心事や実践・研究の報告を投稿していただきました。近い将来、この投稿記事を紀要としてまとめ、鳥取養育研究所の活動実績として発信する必要を感じています。

鳥取養育研究所は、これからも「すべ

ての子どもたちは、人間としての尊厳と子どもらしい生活、多面的で調和のとれた発達を保障されなければならない(鳥取養育研究会発足時の呼びかけ分より)という理念の実現に向けて、所員のみならずと共に取り組んでいきたいと思っています。

はまむら作業所

サービス管理責任者 山岡 宏樹

この春で、『はまむら作業所』が、障がい福祉サービスに携わり五年が経過致しました。平成二十六年四月に事業開始した「就労移行支援事業」も二年が経過し、この春、二名の就職者を社会へ送り出す事が出来ました。就職後のフォローアップは現在も継続中ではありますが、スタッフ一同、まるで家族の事のように喜び、支援を継続しております。また、平成二十八年四月より、就労継続支援B型事業を再開し、多機能事業所として活動開始となり、現在十二名の利用者、七名のスタッフ(非常勤スタッフを含む)と共に日々活動しております。利用者さんそれぞれに異なる目標や課題を理解し、支援体制や支援方法等も工夫をし、開設当初から重要視している「個別支援の充実」をさらに発展させるべく日々奮闘しております。

この五年就労支援事業に取り組む中で、支援関係者さんの協力があったからこそ利用者さんを社会へ送り出せるという事、地域企業の理解があったからこそ作業や就労活動をさせていただけるといふ事。また、御家族や地域の皆様の日々の関わりがあるから、勤め続けるという事を学ぶ事ができるという事を実感しています。利用者さんの特性等が理解され、これからの利用者さん個々の能力を活かす事ができるようスタッフ一同支援に全力で携わりたいと思います。

少し話は変わりますが、この春から、「働く」場所の環境整備を、法人をあげて取り組んでいます。より充実した就労支援体制、活動体制となるよう整備中です。手作りで修繕、企業さんの協力等で少しずつ作業環境を整えているところです。主体は利用者さんでありませんが、「スタッフも利用者も共に働き易い環境や体制を」が本年の課題と考えていますので、頑張つてまいります。また、本年は、日中活動、余暇活動の充実も課題です。それぞれのニーズに応じた日中活動の提供、季節や意向等にに応じた余暇活動の充実も合わせて、就労継続支援B型、就労移行支援事業共に工夫をしていきたいと思っております。

はまむら作業所として、今後も利用者さん、スタッフ共々精一杯努めてまいりますので、どうぞ変わらぬご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

障がい福祉サービス事業「はまむら作業所」決算書

収入 (単位: 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
就労支援事業収入	1,584,000	1,779,988	△ 195,988
障害福祉サービス等事業収入	14,430,000	14,285,874	144,126
受取利息配当金収入	1,000	345	655
その他の収入	71,000	71,500	△ 500
拠点区分間繰入金収入	2,142,000	1,313,690	828,310
合 計	18,228,000	17,451,397	776,603

支出 (単位: 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
人件費支出	12,543,000	12,568,365	△ 25,365
事業費支出	2,670,000	2,132,303	537,697
事務費支出	912,000	836,992	75,008
就労支援事業支出	1,916,000	1,828,900	87,100
その他の支出	63,000	63,500	△ 500
固定資産取得支出	100,000	0	100,000
積立資産支出	16,000	15,997	3
その他の活動による支出	8,000	5,340	2,660
合 計	18,228,000	17,451,397	776,603

収入支出差引残金 ￥0

職員自己紹介

就労支援員 小林 享二

四月から異動で『はまむら作業所』で勤務します。利用者の皆さんと楽しく毎日を送れるよう頑張ります。よろしくお願いします。

退所児童等アフターケア事業

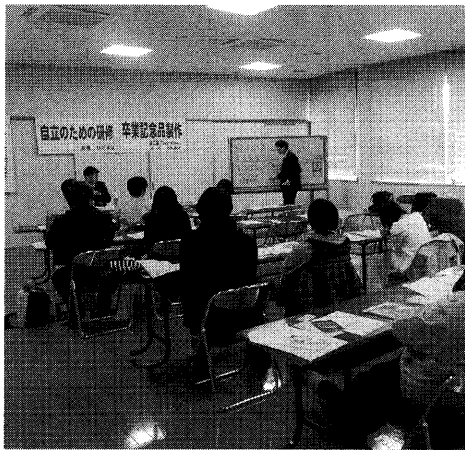
ひだまり

パワーアップ

所長 中嶋 進一

昨年度は、アフター事業では、生活費の適正な使い方や生活環境の改善のための支援を行い、三人が自立することができました。就労支援事業においては、農作業や清掃活動、サービス業等の体験活動をを行い、三名が正規雇用者となることができました。

新たな取り組みとして、退所後の相談事例に生活費の管理の仕方が多いことから、生活費の管理の仕方について高校生と出身者を対象とした自立のための研修を実施しました。金銭教育は退所後では遅いという判断から、急遽一月末に実施いたしました。参加者からは、「来年度からの生活がイメージできた」等のコメ



ントをもらい、自立への一助を担えたかなと自負しております。

また、「ひだまりカード」ひとりではないで！こんな時は、ひだまりへ！」を作成配布し、ひだまりの事業の広報にも力を入れました。

そこで、今年度は、昨年同様、生活支援や就労支援を行ってまいります。退所前の子どもたちを対象として自立のための研修に力を入れていきたいと思っております。幸いにもこの研修に毎日新聞大阪社会事業団がバックアップしていただくこととなり、金融教育を中心とした研修を年数回行うことができることになりました。研修内容、方法を検討し、子どもたちに退所後に健全な生活を送ることができる力を身につけてもらいたいと思っております。

そのために、就労支援の体制も強化しました。山根潤子就労支援員を新たに加

ひとりで悩まないで！
生活や仕事の悩み、困りごとがあったら
ひだまり
〒680-0841 鳥取市吉方温泉1丁目212番地
☎ 0857-27-7867
✉ hidamari@juno.ocn.ne.jp

こんな時は、ひだまりへ
☆生活の悩み
・生活費のやりくり(家賃、貯蓄)
・食事づくり
・各種手続き(住民票、健康保険、年金)
☆仕事の悩み
・仕事さがし
・人間関係
・履歴書の書き方 等
(相談受付) 月、金 10:00-19:00
(定休日) 土、日、祝祭日
どんな小さなことでもなやむな
まずは、0857-27-7867へお電話を！

職員自己紹介



就労支援員 山根 潤子

はじめまして。四月からひだまりでお世話になっております。

新しい環境で、仕事の難しさも改めて感じているところですが、職場の方にご指導をいただきながら、利用される方のニーズに合わせたサポートをできたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

退所児童等アフターケア事業「ひだまり」決算書

収入 (単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
委託料収入	13,063,000	13,297,000	△ 234,000
助成金収入	100,000	100,000	0
寄付金収入	0	69,480	△ 69,480
雑収入	0	132,704	△ 132,704
合 計	13,163,000	13,599,184	△ 436,184

支出 (単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	9,860,529	9,798,090	62,439
運営費支出	3,302,471	3,801,094	△ 498,623
合 計	13,163,000	13,599,184	△ 436,184

収入支出差引残金 ￥0

当学園事業へのご寄付
後援会へのご加入に
感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は、
下記のとおりです。
心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (H27.11.6 ~ H28.5.9)

敬省略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
(有) ワーランドワ 田村明浜子代 土江浜美由 鳥取市民生児 溝口好真由 鈴木鳥取 一マ鳥取 齋藤山原代 富原口山芳 藤河村山口 村山口山次 川誠学舎立川 至誠学舎立川 八頭更生保護 池井上野隆夫 山吉野の会 鳥取友智 島谷村子 中下孝和仁 山柴松畑すな 磯小竹竹奥松 鳥取教会シ 小福小谷寿谷 タグチレディース 田栗山崎内本 秋藤亀栖岸寺 高福永	(株) 今井書店 代表取締役 中尾 行雄 春陽法律事務所 弁護士 石田 文三 前田 耕 豊 田中 耕 自 岡 照 美 田 干 尋 スカイクリニック 片山正見 伊藤 文 代 石田 晤 玲 ゆうわ総合法律事務所 忠一 下古 川 義 潤 中 西 敏 ホットクラブ 俊 恵 代表 勝 原 敬 二 林 桑 田 綾 乃 (有) エフエムエルサービス (株) エフエムエルサービス 近藤 多 喜 小野 裕 昭 川上 裕 彦 尾本 智 文 瀬村 健 太 奥西 田 啓 仁 伊湯 堀内 正 人 いしど 戸 喜 正 (株) トリベイン 二江 中福 野 辰 郎、 弥 寿 平池 田 茂 之、 素 代 野田 田 嶋 美 喜 福木 嶋 裕 博 本 畑 山 博 五 畑 森 本 五 郎 (株) 代表取締役 小谷 憲司	渡入 邊 哲 次 田江村 順 明 川口 明 明 相 貝 明 園 新 矢 榎 榎 伊 澤 亮 亮 田 中 和 和 木 村 H の 3 上 信 井 尾 崎 俣 長 堀 谷 賢 堀 濱 内 苑 濱 本 英 倉吉 倉 周 英 辻 本 玲 苑 鳥山 玲 苑 谷ニグチヘアサロン 明一 斎藤 慎 美 尾崎 村 忠 忠 (株) メモワールドイナバ 文 医療法人社団 かわぐち皮膚科 夫 川口 俊 卓 実 半田 卓 卓 海 藤 卓 卓 中嶋 哲 一 雨河 一 一 (株) 千代エンジニアリング 生 井口 壬 博 山本 井 喜 臣 藤巻 田 百 合 生田 義 子 はやし 社会保険労務士事務所 義 雄 林 岸 田 ガラス店 賢 伸 (有) 代表取締役 岸田 賢 伸 酒巻 佐 代 子 鳥取トヨベツト(株) 子 杉村 英 倫 美 小宮山 富 美 小宮山 富 美 小宮山 富 美 いさみや 商店 寛 トットリアフトピア協会 泰 俊 特定非営利活動法人 Living in peace 理事長 慎 泰 俊	戸板宏一郎 国際ソロプチミスト鳥取 山根 章 保護者 鳥取みどり園 保護者 山根 雅 機 (株) ヤマ 千 恵 福大平谷中田女田 恵 大山柴柏岡岸 恵 ワシントンホテル(株) プラザ 鳥取ワシントンホテル 永 哲 総支配人 徳 永 哲 田中河本川木田園崎橋井本 滝竹中柏安下尾小小河 医療法人社団 藤本津崎田 齋盛野浜吉愛若前(有) 代表取締役 山根 陽 小竹原口崎田原 三 智 尾前小鳥取商 事 中村 悟 社会福祉法人 あすなろ 会 高草あすなろ 施設長 片山 義 継 前田医院 前田 宏 治 加藤藤谷 和 笑 広 谷 笑

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
福田明彦 安達裕見子 高橋昌文 社会福祉法人 あすなろ会 理事長 相澤英之 (株)住谷青果 松永陽明 大同端子製造(株) 一ルおもかげ 堀田利明 家のきのし 代表取締役 木下敏明 松浦静江 坂根政代 愛知県立大学教育福祉学部 望月彰 木村信行 岡村進、衣織 森澤直義 第二小羊チャイルドセンター 小羊教会 藤野興一 岩崎薫 (医)たなか小児科医院 村上悦子 村上悦子 江草野孝明 岩水野雅昭 市川昭美 上川元二 藤田優子	山名美智子 熱田洋子 安治紘紀、真由美 山下真由学 中尾泰雅 鳥取商工会議所女性会 会長 川口眞佐子 西尾孝子 池上聡一 みなみ 歯科 医院 澤田孝義 浅井富美子 浅井慶紀 日本基督教団 用瀬教会 鳥取ライオンズクラブ 会長 井上仁 安岡弘起 日本キリスト教団 上井教会 日本基督教団米子教会社会委員会 医療法人 きむら耳鼻咽喉科医院 理事長 木村寛 山陰酸素工業(株)鳥取支店 山本伸子 山根浩子 加藤由紀 柴田崇裕 光田澄子 正林督章 鳥取医療器(株) 谷口香与子 高浦和子 内藤直人	中川康恵子 安藤芳雅夫 藤本来美紀 入野和悦子 浅田悦子 安澤井 将春 矢田末光 池成孝昭 大倉幸雄 鳥取市仏教会 山本國男 ラスベガス郡家 正岡康弘 鳥取県労働者福祉協議会 支部長 保木本淳 根雨4区納税組合 (有)赤山建築設計事務所 中村あずみ 阿久津和海 才モリコトヨ子 田中嘉鶴子 川口耕栄子 松村津由幸枝 河村松幸子 田中忠仁、勢津子 綱島健智之 竹鈴木 洋平	玉木敏久 野田元修 大塚元也 鳥取県教職員組合東部支部 米原電気管理事務所 福士久美子 ゆめのたまごプロジェクト 福井正樹 川口正男 砂川晋治、真理 谷垣由紀恵子 岸井重明 植田望 (株)懸樋工務店 代表取締役 懸樋義樹 吉田由喜江 建部恵子 白井道子 やまこう建設(株) 代表取締役社長 岸本行正 谷詰万寿子 山河本静彦 河朝倉山藤子 丸安山藤子 入江信一 無名氏

物 品 寄 付 者 (H27.11.4 ~ H28.5.14)

敬省略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
藤原まり子 藤縄匡伸 海陽亭 ハローズ鳥取店 お祭りバンク(有)サンウッド スリーパー鳥取店 鳥取南更生保護女性会 会長 小宮山富美子 大樹寺 岩本純子 鳥取市立修立小学校 鳥取廣信青果 一般社団法人 日本レコード協会 竹本芳宏 全国シャンメリー協同組合 水越孝幸 中村艶子 南條芳浩 信夫正規 鳥取教会シオン会 修立地区老人クラブ連合会 会長 安田謙三	(株)竹中工務店鳥取営業所 所長 杉本正衛 (株)竹中工務店安全衛生協力会 鳥取副支部長 田嶋広美 鳥取市立宮ノ下小学校5年生 福田養蜂場 日本鏡餅組合 理事長 樋口元剛 米田正雄 日ノ丸産業株式会社 真嶋茂 田原コンサルト大阪事務所 浅井慶紀 百村眼科 彦 清水雅彦 今井書店 楽天(株) 黒川和子 井上信正 立五2区町内会 鳥取県中小企業団体中央会 イオン津ノ井店	鳥取敬愛高校Sクラブ 福田眞 鳥取鶏卵販売(株) 上田包装企業(株)鳥取支店 明治安田生命保険相互社 山陰支社 鳥取営業支社 鳥取中央営業所 光琳グループ 猪口吉野 袋川をはぐくむ会 会長 粟嶋道和 市谷年弘 フィリップモリスジャパン(株) 鳥取南更生保護女性会 会長 坂尻恭子 田中悦子 岡本智鶴子 鳥取県朝日会 岩淵明美 山陰中央新報 徳田商七郎 斎藤正七 みやけ工務店 米子水鳥公園	谷口秀俊 保木本俊 キイロイコトリ (株)アパマンショップネットワーク 坂根ちさと 愛真幼稚園 田中博子 農業生産法人 (株)安納スイーツファーム 末永卓哉 (有)ダスカジャパン クアテモック 吉田 メガガイヤ広島駅前店 まりんちゃん 長谷川ゆかり 清水由紀子 中村艶子 江崎グリコ(株) 営業本部 中四国販売計画室 江口裕次郎 岡田信康 鳥取いなばライオンズクラブ 無名氏

創立110周年記念式典 感謝の集い

◆日 時 2016年10月1日 (土)

◆記念式典 鳥取こども学園体育館
10時～

◆記念講演 阿部 志郎 先生
11時20分～

◆感謝の集い みどり園ホール
希望館教育棟
12時30分～14時30分

◆OB・OG・旧職員交流会 (会員制)
シティーホテル
17時～

平成27年度 鳥取こども学園後援会収支決算書

自 平成27年4月1日
至 平成28年3月31日

(収入)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	比較増減(△)額	摘 要
後 援 会 費	304,000	275,000	29,000	39件(前年度35件)
貸 付 金 返 済	0	1,200,000	△ 1,200,000	
雑 収 入	539	499	40	預金利息
前 期 繰 越 金	1,328,487	1,442,010	△ 113,523	26年度より
合 計	1,633,026	2,917,509	△ 1,284,483	

(支出)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	比較増減(△)額	摘 要
本部会計へ寄付	0	0	0	
手 数 料	178,833	80,562	98,271	郵便、クレジット (ネット募金)、残高証明
児 童 支 援	24,600	308,460	△ 283,860	海外研修保険料
貸 付 金	0	1,200,000	△ 1,200,000	
雑 費	0	0	0	
合 計	203,433	1,589,022	△ 1,385,589	

収入支出差引残金 ￥1,429,593 -は次年度へ繰越

会費・寄付金は下記へお願いします

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内
☎(0857)22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎 淑子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812
鳥取銀行本店 普通 7645611

【お願い】

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発刊しています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考えてのことですので、ご理解いただきますようお願い致します。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。